



美しい紅葉に心を奪われている間に師走を迎えました。この時期になると、お歳暮、大掃除、年賀状やおせち…等など新年を迎える準備が沢山あり、

何から手を付けたらいいのか悩めます。

又、この時期は1年を振り返り反省や後悔することも多々ありますが、皆様に支えられ無事に過ごすことができたのは何より嬉しいことと感謝しています。何かとご多忙とは思いますが、お元気で過ごして下さい！



失敗しない家づくりのポイント (6)

前回に引き続き、失敗しない家づくりのポイントについてお話しさせていただきます。

大切なお住まいづくりの参考になれば幸いです。

・モデルハウスと完成した家の落差にがっかり完成した家がイメージしていた家とはずいぶん違う。

私の建てたい家はこんな家ではなかった・・・。家が完成した後で、当初思い描いていたイメージとの落差？にがっかりするといった失敗事例は少なくありません。

その落差は、一体どうして生じたのでしょうか？住宅会社が公開している展示場やモデルハウスは、「見せるため」に作られたものです。

来場者が憧れるような高級家具を設置し、台所にはめったに使われない、ハイグレードな素材を用いています。何度もモデルハウスに通って見たとしても、それは実際に住む家とは違います。



大事なものは、モデルハウスではなく実物を見ることです。実物とは住宅会社が実際にお施主さんの為に建築した家のことを指します。

そして次のふたつを満たした家を見てください。

- 1.実際に住む予定である本物の住宅
 - 2.実際に検討しているものと同グレードの住宅
- こういった実際の家を見ている人は、自分の建てる家をイメージしやすいのです。



モデルハウスなどを見ると、そのような豪華な家になるとつい錯覚しがちなものです。

間取りの検討が始まり、住宅会社が提案するきれいに色づけされた平面図や立面図、パース図などを目の前にすると、一般の人は夢を描いてしまいます。自分の建てる家が、その図面やカタログのようにでき上がるものと錯覚してしまいます。

そして、いざ家が完成したら思い描いていたものと全然違う！

そんな失望を味わわないためにも、「実物の家」をしっかり見学しましょう



「シクラメン」

冬の観葉植物の定番的存在。種類も大変豊富です。和名は何と「豚の饅頭」。原産地であるトルコなどは豚が球根を食べることから「豚のパン」と呼ばれていました。日本に伝わったとき、直訳して「豚の饅頭」と名付けられたようですが、さすがにこの名前は定着しなかったようですね。

シクラメンは、冬の贈答の花としてよく用いられていますが、お見舞いの花には適していません。お見舞いのタブーとされている「鉢植え」「赤い花」「下向きの



花」、それに加えて「シクラメン」が「死」「苦」の語呂合わせになるからです。花言葉は清纯、はにかみ、思慮深いです。

感謝と返謝



私たちが、日々生活する上で必要とされるエネルギーの中で、最もパワフルな力を発揮するのは感謝の気持ちだと思います。

どんなことにも、感謝の気持ちをもって接すれば感謝の質が変わってきます。

生きていること

息をしていること・・・

感謝の対象は何でも構わないのですが、感謝の気持ちの大切さは、自分が満たされている時には、残念ながらなかなか判らないものです。

例えば、暖房の良く効いた部屋で、絹や羽毛の布団に包まれて寝ていると、外の寒さに気付かなかったり、子供たちが恵まれた環境で育ち、次から次へと、欲しいものを与え続けられていると、それが当然と勘違いし、周囲に感謝する大切さが判らなくなってしまいます。

これとは別に、感謝にはもう一つ大事な意味があります。

それは、単に有り難いと思うだけではなく、その気持ちを、今度は誰かに返していくことによって感謝の心は完成するものなのです。

だから、「有難い、ありがたい・・・」と言って、いつも人から与えられてばかりでは駄目なのです。



感謝して、本当に有り難いと思ったら、その感謝の気持ちを、何らかの形で社会に還元することが大切です。

同じ人に返さなくてもいいけれど、世間に必ず返すということです。

「感謝は返謝してこそ完成する」のです。

返謝の無い感謝は、ただもらうだけの人生になり、いつももらうことを期待してしまいます。そして、もらえないと不満だけが残りと、誰かを恨んだり、憎んだり・・・

人に何かを与えるということは、人から返ってくることでもあるのです。

但し、決してそのことを期待しなさいというわけではありません。



でも、人は何かを与えられたら、必ず返そう、いつかきっと返したい、という気持ちを持っているものです。

ですから、どんなものでも自分が必要とする分だけもらい、あとはどんどん他の人に返してあげる。

良いことも嬉しいことも、自分一人でため込まず、皆と分かち合うという気持ち大切です。

一人ひとりが広～い心を養い、誰もが安心して暮らせる、そんな優しい社会づくりを目指したいものですね。

「編集後記」

年明け早々に能登地方で大地震発生という想定外の1年でしたが、早くも師走を迎えました。

未だ不自由な生活を余儀なくされている方々にとっては辛い1年だったので胸が痛みます。

来年こそ、心安らげる年になることを願います。

さて、「やすらぎ通信」ですが、内容見直しの為、しばらくの間休刊させていただくことになりました。

少しでも皆様のお役に立つ情報を、と心掛けて参りましたが如何でしたでしょうか？

本当に長い間、お読みいただき有難うございました。

又、新しいスタイルで皆様にお届けできたらと思います。

年末は何かとお忙しいことと思いますが、お身体を大切に、



どうぞ良いお年をお迎えください！

心より感謝を込めて・・・❤

渡辺ハウジング 社員一同